

令和3年度 第1回秋田県地域訓練協議会 議事概要

日時：令和3年11月4日（木）
14:00～15:00

1 開会・秋田労働局長挨拶

2 委員紹介

3 会長選出

4 議題

（1）公的職業訓練の概要について

（2）公的職業訓練の実施状況と課題について

（3）令和4年度における秋田県職業訓練計画策定の方向性について

（4）その他

5 意見交換

6 閉会

【議事概要】

<議題（1）公的職業訓練の概要について>

<議題（2）公的職業訓練の実施状況と課題について>

<議題（3）令和4年度における秋田県職業訓練計画策定の方向性について>

<議題（4）その他（ジョブ・カード制度の取組状況について）>

4つの議題について事務局から資料に基づき説明。「5 意見交換」時に委員へ意見・要望を求めた。

<5 意見交換>

○渡部会長（秋田県立大学）

秋田県の求人倍率が1.57倍と日本で3番目に高い水準にあることについて、労働局へその分析について質問があった。

●川口局長

建設業・医療福祉など構造的な人手不足産業から多数の求人があること。加えて製造業、中でも電子部品は5Gもあり非常に好調であり、飲食店も他県と比較して好調であること。さらに県北で大型ショッピングセンターの進出予定があり大口の求人があることが要因であるとの分析を報告した。

○金子委員（秋田県商工連合会）

訓練受講者数より修了者数が多いことについて、事務局へ資料の表の見方について質問があった。

●事務局（佐藤室長）

表の開講分は令和2年度に開講した分の数字であるのに対して、修了分については令和元年度開講分も含んだ令和2年度に修了した分についての数字であるため、数に相違が生じているコースもある旨回答した。

○渡部会長

訓練ニーズ以外にも訓練受講者の確保及び訓練修了者の職場定着についてのアイデアを委員に求めた。

また、労働局が開始したツイッターやインスタグラムを素晴らしい取組であるとして評価し、連合のホームページ上でその宣伝が可能か問いかけた。

●藤井委員（連合秋田）

ホームページ・フェイスブックを活用して連合の行事等を組合員に周知しているが、全ての組合員に伝わるのは難しいとの感想をもっている旨発言があった。組合員はフェイスブックやツイッター等の SNS に関心はあるものの、どのようなチャンネルに繋がれば狙っているターゲット層へ拡散できるのかが共通の悩みだとの発言あり。

また、労働相談を通じて把握している情報として、母子家庭の母や子育て中の女性の失業が大変多くなっていることを紹介し、①きめ細やかな職業訓練のニーズ把握②退職理由（勤務時間の短縮や非正規雇用等）の分析等、引き続き女性視点も取り込んだ対応を希望する旨発言があった。

○渡部会長

母子家庭の母・父子家庭の父の訓練ニーズ等を労働局・機構支部・市町村の福祉部門が連携のうえ共有し、どうすれば母子家庭の母者がどんな訓練であれば受けられるのか調査を希望する旨発言があった。

また、吉田委員に対して、①専各のホームページ上で労働局の施策等の宣伝は可能か② SNS での宣伝に関するノウハウを有する者がいないか問いかけた。

●吉田委員（秋田県専修学校各種学校協会）

専各でホームページは持ち合わせていないが、職業訓練を行っている学校に依頼して周知してもらうことは可能との回答があった。また、SNS でのノウハウについてはビジネス系の学校はその分野の専門と思われるので相談してみたいとの発言あり。

○渡部会長

労働局及び機構支部に対して専各との協力の下 SNS での発信について研究して欲しいとの要望があった。

また、事業主団体に対して訓練受講生を増やすコツ、訓練受講者の就職を増やすコツ、SNSでの宣伝に関するノウハウを有する者がいないか問いかけた。

●脇委員（秋田県経営者協会）

職業訓練に人が集まらなくて困っているといった話がなく、今のところ職業訓練をなんとかしなければいけないという意見は聞かないとの発言あり。

○渡部会長

データ上は困っているように見えても、その声は必ずしも聞こえてこない場合もあるようだと感じを述べた。

また、訓練受講を通じて再就職に結びついた好事例を集積し、求職者等へ情報提供することを提案した。事業主団体や労働組合には好事例があった際には労働局・機構支部へ情報提供すること、労働局・機構支部には自ら調査することを依頼した。

意見交換終了